

東京医学会

東京医学会 第 2437 回集会

日時：平成 20 年 1 月 22 日（火） 17:00~18:00

場所：医学部二号館（本館） 1 階 小講堂

演者： Neil A. Bhowmick 博士

（所属）Vanderbilt University, Department of Urologic Surgery（アメリカ）

演題： **TGF- β signaling: a mediator of tumor-stromal interactions**

紹介： 癌が悪性化する過程において癌細胞とそれを取り巻く間質との相互作用（tumor-stromal interaction）は重要な役割を果たしますが、その相互作用における transforming growth factor (TGF)- β シグナルの役割が注目を集めています。Bhowmick 先生は前立腺の間質における TGF- β II 型受容体 (T β RII) の発現が癌の悪性化に伴って低下することを見出しました。さらに間質特異的に T β RII 遺伝子を欠損させる遺伝子改変マウスを用いて、間質における TGF- β シグナルの不活性化が癌の進行を促進する因子である HGF と Wnt3a の発現を亢進することを明らかにしました(Bhowmick et al., 2004, Science)。今回は博士のお話が聞ける貴重な機会ですので、多数の先生方の御来聴をお待ちしております。

主催：東京医学会

共催：分子病理学 教室

グローバル COE プログラム

「生体シグナルを基盤とする統合生命学」